



綾の照葉樹林プロジェクトの町民参画活動 地域づくりワーキング



綾町の照葉樹自然林の保護・復元と照葉樹林文化を通じた地域づくりを目的にした「綾の照葉樹林プロジェクト（綾プロ）」は、国（林野庁九州森林管理局）・宮崎県・綾町（一社）てるのは森の会（公財）日本自然保護協会の5者が2005年から協働で取り組んでいるものです。綾プロの活動を進めていく中で、活動の推進・拡大を図るうえで、町民のプロジェクト参加をどう増やしていくかが課題としてあがってきました。そこで、より多くの町民に参加してもらえよう2008年に「地域づくりワーキング」が設立されました。ワーキングには、町民のほか地域づくりに詳しい大学教授などの専門家も参加しており、てるのは森の会が運営をサポートしています。

ワーキングは設立2年目に、綾プロ連携会議で綾町のユネスコエコパークの登録申請を提言し、登録に向けた活動がスタートするきっかけをつくりました。また、ユネスコエコパークの審査を担うユネスコ日本委員が来町したときには、綾町の自然やまちづくりについての紹介を行っています。

2012年からは、綾ユネスコエコパークの登録を契機に町内の地域自然調査を3年にわたって実施。その結果をもとに、上畑地区、馬事公苑・綾城周辺、宮原地区にウォーキングコースの「綾ひや



地域づくりワーキングの会議の様子

らひや一ツウオーク」を設定し、町民をはじめとする多くの人々が豊かな自然や地域資源を楽しめるようウォーキングマップを作成しました。

近年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で活動が難しい状況ですが、定例会でさまざまなアイデアを出し合いながらアフターコロナに向けた取り組みの企画立案を行っています。そのひとつが上畑地区で行う「おとなの山学校」です。これは大自然や山の暮らしの体験ツアーで、現在、新たな散策コースの設定や体験メニューにつ

いて協議をしています。今年秋にはモニターツアーの開催を予定しています。あらためてお知らせしますので、皆さんもぜひご参加ください！



「おとなの山学校」の猟師と歩く里山コースではわなの見学も



「おとなの山学校」のパンフレット



ひやらひや一ツウオーク馬事公苑・綾城コースのマップ

綾ユネスコエコパーク推進室・綾ユネスコエコパークセンター

☎77-3482 URL <https://ayabrcenter.jp> ※エコパークセンターは毎週日・月曜日および祝日休館
感染症の影響による休館などの情報はホームページで随時更新します

アオダイショウ

日本固有種で体長100〜250cmと、本土にいるものでは最も体が大きいヘビです。

毒はありませんが、大きな体や特殊なウロコを上手に使用して木に登ることができ、小型ほ乳類や小鳥などを食べます。繁殖期は5〜7月で、秋ごろには幼体が生まれてきます。

小さいころは縞模様があっさり出ています。毒を持つマムシに擬態することで、敵から身を守っていると考えられます。大きくなると緑色から青緑色になります。比較的小となしい性格ですが、体を触ると独特の臭いを発しますのでご注意ください。



NEWS!

イオン環境財団 寄付講座



7月2〜3日にイオン環境財団の寄付講座の実習で、早稲田大学社会科学部の学生など13人が綾町を訪れました。事前にユネスコエコパーク推進室職員がオンラインで綾町の取り組みを紹介したうえで、現地視察です。

学生らは、照葉大吊橋や酒泉の杜、手づくりほんものセンターなどを見学したほか、有機栽培や果樹栽培に携わる農家や工芸家にも話を聞き、「自然との共生」の理念に基づいたまちづくりを実感したようです。また、綾町イオンの森での除草作業にも取り組み、「里山再生の大切さやそこから生まれる新しい価値を学べた」と話していました。